

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2023-2024

「今こそ変わる勇気を！
さあ、一歩前へ」

Rotary



世界に希望を生み出そう

Vol. **7**

2024.1.1

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
清里RC活動報告	3
雄武RCによる事業・行事の実施報告	4
帯広RC事業活動報告	5
世界ポリオデー活動報告	
北見市内3RC合同開催	6
音更RC活動報告	7
帯広RAC活動報告	8
釧路北RAC活動報告	10
稚内RAC活動報告	12
富良野RAC活動報告	13
美幌・北見・網走RAC合同開催	14
釧路北RC出航日本を取り戻し楽しむ旅 航行中	15
根室・根室西RC合同音楽隊事業	16
米山奨学生レポート	18
ハイライトよねやま	19
コーディネーターNEWS	22
新入会員の紹介	25
ロータリー財団寄付者報告	25
米山功労者報告	26
物故会員	27
例会出席率及び会員数推移	28



ガバナーメッセージ

2023-24年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー

鶴見 誠一郎

(紋別港RC)

新春のご挨拶と下期の取り組み

国際ロータリー第2500地区ロータリアンの皆様、謹んで新春をお祝い申し上げます。上期は、たいへんお世話になり、誠にありがとうございました。公式訪問では各クラブ様が温かくお迎えくださり、また、熱の入った議論を含む意見交換等々、真剣に向き合い異議ある時間をご一緒させて頂きました。各セミナーや地区大会においては、遠方各地より紋別の地にご参集いただきましたこと心より御礼申し上げます。一つひとつの行事が無事に完了しており、皆様のご理解ご協力に感謝しております。

さて、2023-2024年度、下期のスタート。1月は「職業奉仕月間」です。改めて皆様と確認していきたいと思っております。

【ロータリーの目的とは】

意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。具体的には次の各項を奨励することにあります。

第1：知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること

第2：職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

第3：ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において日々奉仕の理念を実践すること

第4：奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて国際理解、親善平和を推進すること

【職業奉仕という概念】

上記は、ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した哲学的な声明です。職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、この項で、ロータリアンは次のことを奨励し、育むことが求められています。

- ・職業上の高い倫理基準
- ・役立つ仕事はすべて価値あるものという認識
- ・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする事では、職業奉仕はどのように実践できるでしょうか。

- ・例会で、各会員が自分の職業について話し、互いの職業について学び合う
- ・地域社会での奉仕プロジェクトで職業スキルを生かす・高潔さを重んじて仕事に取り組み、言動を通じて模範を示すことで倫理的な行動を周囲に促す
- ・若者のキャリア目標を支援する
- ・専門能力の開発を奨励し、指導する

職業奉仕はロータリーの核心であり、世界中の地域社会で奉仕を行う土台となるものです。

ここで、もう少しわかりやすく自分らしい言葉で表現するならば、

私たちはロータリアンです。地域社会や国際社会に奉仕し、平和と理解の促進を目指しています。さまざまな奉仕活動やプロジェクトを通じて、人道的な影響を与えています。1月は、特に「職業奉仕に焦点を当て、会員皆様が自身の職業を通じて社会に奉仕する機会を提供する」月間です。これには、職業指導、仕事の技術をシェアするプログラム、若者向けの職業指導などが含まれます。また、地域社会との連携や協力を強化し、職業奉仕を通じて社会全体にポジティブな影響を与えることが目標とされています。

このような内容になるものと考えます。難しく考えず、自分らしく、できることから始め、誰かに何らかの良い影響を与えることができる・・・そう思える、そう行動できる下期であってほしいと願います。継続的な意識が必要なこと、それは、

- ・私たちは、「世界を変える行動人」として地域社会の改善を目指し、奉仕を通じて末永いインパクトを直接もたらしています。
- ・私たちは、手を取り合って世界的な課題の解決に取り組んでいます。
- ・私たちは、事業・職業のリーダーや市民のリーダーとの親睦を通じて高潔性を推進しています。
- ・私たちは、共に、地域社会と自分自身、そしてロータリーの未来にさまざまな形で変化を生み出しています。

【末永く続く変化を生み出すために】

1905年にロータリーが創設されて以来、世界の人口構成は変わり、変化の速度は増し、テクノロジーによってネットワークと奉仕のための新しい機会が生み出されました。しかし、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ、つまりロータリーを定義する価値観は今も変わりません。これまでの功績を称え、未来を受け入れることで、私たちは進化を続けながら今日のニーズに取り組んでいくことができます。

「より大きなインパクトをもたらす」

「参加者の基盤を広げる」

「参加者の積極的なかわりを促す」

「適応力を高める」

第2500地区の皆様、一緒に取り組んで参りましょう！！

清里RC 2023-24 活動報告

今年度実施した奉仕事業のいくつかをご報告します。



◆全道大会に出場した町内小中学校所属の個人・団体に対して支援金を贈呈しました。

◆9月3日「清里ふるさと産業まつり」にてポリオ募金活動を実施しました。4年ぶりのイベントは過去最大の出店数で約1万人の人出がありました。今年初めて清里高校に協力をお願いしたところ、ユネスコ部の生徒さんたちが駆けつけてくださり、予想を超える募金額が集まりました。



◆10月14日、4年ぶりの「植樹祭」に参加協力。旧町営牧場の一角にカラマツ苗木300本を植樹しました。CO₂削減など地球環境の改善に貢献できればと願います。
←町長も一緒に写真撮影に参加くださいました。

◆11月2日、清里町役場前にて、斜里警察署ほか諸団体のご協力もいただき、ドライバーに交通安全を呼びかけ、交通安全グッズを配布しました。実際に車を停めて声掛け配布をするのは4年ぶりになります。またグッズは温泉宿泊施設でも配布してもらおうよう協力をお願いしました。



今年度後半も「町図書館への図書寄贈」（3月）「幹線道路清掃活動」（5月）などの奉仕活動を予定しています。図書寄贈は50周年記念事業の継続事業、道路清掃は清里ロータリークラブが初めて主管として運営します。また家族親睦活動としてクリスマス会（12月）花見会（5月）も予定しています。



雄武ロータリークラブによる事業・行事の実施報告

雄武ロータリークラブによる事業・行事について実施報告を致します。まず、公共的イメージ向上として取り組んでいる事業としては、雄武町「きらめきわが町事業」に参加し、花壇への花植えと雑草除去を5月から10月にかけて行ってまいりました。また、春の交通安全運動に合わせた雄武町交通安全推進委員会が行う「旗の波運動」に参加し、交通安全への啓蒙活動も行って参りました。この旗の波運動では、多年にわたり交通事故防止に積極的に取り組んでいる団体として、本年7月に雄武町より感謝状を頂いております。更に12月には、雄武町子ども育成会が主催する「子どもの主張発表会」の開催に後援を行い、発表会当日には審査員として、雄武町の子供達が日々考える将来の夢や希望、郷土意識などに耳を傾ける機会として毎年参加しております。

ポリオデーに向けた取組みとしては、本年9月にガバナー事務所より協力依頼がございました。第2500地区のSNSを通じた募金活動の取組みに、当クラブもメッセージ動画の協力をさせて頂き、ポリオ撲滅に向けた活動を行いました。

当クラブは、例会はもとより各種親睦活動を通じて会員相互の理解と友情を深め、お互いに信頼し合いながら奉仕活動が実践出来る雰囲気づくりを大切にしております。毎年、会員の趣味や特技を取り入れたゴルフやスキーを企画し親睦を図っているほか、12月には年末家族例会として会員の奥様との交流を深めた活動も行っております。

今後も雄武ロータリークラブとしての地域貢献活動やイメージ向上に向けた取組みを積み重ね、地域から愛される、魅力的なクラブとなれるよう活動を続けて参ります。

交通安全運動「旗の波」運動風景



子どもの主張発表会風景



ロータリークラブ年

年末家族例会風景



帯広ロータリークラブ 事業活動報告

帯広ロータリークラブ 会長 工藤 大輔

弊クラブでは10月21日、地区補助金を活用した事業「グリーンパーク400mベンチプロジェクト」を帯広ロータリークラブと合同で実施、半世紀以上前に作られた木製ベンチの塗装を市民参加のもと開催いたしました。この取組み実施に際し、地元メディアに一般参加者募集記事を掲載して頂いたところ、大変な反響があり総勢118名と予定以上の参加者数となりました。また田中義博第6分区ガバナー補佐をはじめ帯広市内4クラブと音更ロータリークラブの方々にもご協力いただき、1クラブの単独事業にとどまらないインパクトのある活動になりましたことを改めまして感謝申し上げます。なお、当日の様子はNHKローカルニュースにも取り上げていただきました。

ポリオ・デーの取組みとしては、上記事業当日にパネル展を同時開催し、帯広ロータリークラブが募金集めを行いました。当日参加の高校生や一般市民の皆様も熱心に見入って募金をしてくれている姿はとても感動的でした。

その他事業としては、これまでも断続的に開催し、昨年度は中高生を対象に3回実施した出前授業を継続して行っています。メンバー自らが講師となり、中高生に職業観や人生観、地域愛の大切さを伝える事業として職業奉仕委員会が担当しています。

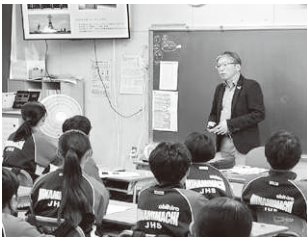
また、今年度社会奉仕委員会では、地域の子供たちの支援をテーマに活動しています。昨年度十勝学園の施設での話が認識不足だった子供たちの現状を知るきっかけとなり、今年度は子供食堂を運営しているNPO団体を支援する形で関わっています。担当委員会メンバーも「実際の現場に来てみないとわからないことがあり、ロータリー活動に関わったからこそ知ることができた」と、さらなる奉仕活動につながっていることを実感しました。



400mベンチプロジェクト



400mベンチプロジェクト



出前授業



ポリオデーパネル展



子供食堂



子供食堂

世界ポリオデー活動報告

ロータリーデー

北見市内3ロータリークラブ合同開催

北見ロータリークラブ／北見東ロータリークラブ／北見西ロータリークラブ

北見RC・北見東RC・北見西RCは合同で、9月17日（日）秋の晴天の中、ロータリーデーとロータリー奉仕デー、そしてポリオデーを同時開催しました。

この日は北見神社の例大祭中日で、各クラブの担当場所を決め、ロータリー奉仕デーとして例大祭会場や駐車場のゴミ拾いを行いました。

その後、配布するペットボトルの水に『ロータリーデー』のラベルを貼り、ロータリーの活動が載ったチラシとセットにする作業を皆さんで行いました。

お祭り開始の時刻から配布をスタートし、1時間ほどで900本程の水を配り終わりました。同時にポリオデーとして募金箱をお祭り会場中心部に設置し、行き交うお客様に募金をしていただきました。ロータリーの活動を、一般の方に知ってもらう機会になったと思います。

3名の米山奨学生も参加してくれ、色々な作業がよい経験となったことでしょう。また、北見3クラブが協力し合う作業となり、クラブの垣根を超えた親睦の場にもなりました。ご参加の皆様、お疲れ様でした。

参加ロータリアン：31名・米山奨学生：3名・ポリオ募金：9,882円

（北見RC：14名・北見東RC：6名・北見西RC：11名）



世界ポリオデー活動報告

音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラ 「Christmas Concert」を後援して

国際ロータリー第2500地区ポリオプラス小委員会委員長
第6分区ガバナー補佐

田中 義博
(音更RC)

2023年12月10日(日)14時より、音更町文化センター大ホールにて参加者250名余りを得て盛大に開催された。音更町伊福部昭記念ジュニアオーケストラは、2017年9月に音更町にゆかりのある「ゴジラ」をはじめとする300曲以上の映画音楽の作曲などで著名な音楽家、伊福部昭氏を記念して設立されたオーケストラであり小学生から高校生までが在籍している。

本事業は音更RCからの寄付金とロータリー財団地区補助金を活用して開催された事業であり、その支援事業内容としては会場費や楽器購入費などをはじめ文化センター近隣に移転建立された伊福部昭記念碑費である。

また、当日は、音更RC会員がロビーに「ポリオプラス」撲滅キャンペーンと銘打って幟旗を立てて募金箱を設置し、ポリオ撲滅を願い作成したチラシとポリオキャンペーン風船の配布およびコンサートパンフレットの折り込み作業から配布まで行った。

プログラムとしては、第1部のジュニアオーケストラのクリスマスメドレーなど6曲、第2部の来場者の体験コーナーで盛り上がった後、第3部ではジュニアオーケストラと音更高等学校管弦楽局や音更ジュニアプラスバンドならびに音更町内の中学校吹奏楽部有志などによる、音更町ではなじみが深い「十勝バラードメドレー」、「ゴジラ」のテーマ曲など合同演奏が4曲披露され、アンコールでは観客との「ふるさと」の合唱で終了した。



2部開始前に、阿部英輝音更RC会長から「ロータリークラブ活動の概要について」と田中義博ガバナー補佐から「ポリオの概要と撲滅について」それぞれ紹介があった。

※2023年10月21日(日)開催された、帯広RCと帯広RAC合同事業「地域の環境と財産を守り未来へつなげる事業—グリーンパーク400mベンチプロジェクト」としてベンチ座板の塗り替えがロータリー財団地区補助金を活用して開催され、私もボランティアとして参加したが、その活動中も「ポリオプラス」撲滅キャンペーンとして募金箱が設置された。



世界ポリオデー活動報告

帯広ローターアクトクラブ活動報告

帯広ローターアクトクラブ 会長 後藤 雅 人

- ・第26回12時間チャリティーソフトボール大会 (1188)
8/20にリングプル・古切手の募金と合わせて、ポリオデーの募金活動を行っています。
10団体に参加いただき募金金額は15,210円でした。



- ・第3ブロック合同例会 アクトの日(1189)
9月9日に釧路北ローターアクトクラブと共同で、アクトの日奉仕活動として十勝川の河川敷清掃をおこないました。今年は隣接する十勝川治水100年事業と合わせて実施しました。募金金額は1,401円でした。



- ・帯広西ロータリークラブ 例会訪問
9月14日に提唱クラブである帯広西ロータリークラブ様に訪問し、募金活動を行いました。募金金額は27,972円でした。



- ・帯広東ロータリークラブ 例会訪問
9月26日提唱クラブである帯広東ロータリークラブ様に訪問し、募金活動を行いました。募金金額は17,700円でした。



- ・帯広ロータリークラブ 例会訪問
10月18日に提唱クラブである帯広ロータリークラブ様に訪問し、募金活動を行いました。募金金額は14,307円でした。



- ・10月21日 グリーンパーク400mベンチ塗装プロジェクト(1190)
帯広ロータリークラブと合同でRC補助金事業として、帯広市にあるグリーンパークの400mベンチ塗装を一般市民の方も含め、118名に参加いただきました。募金金額は21,053円でした。



- ・帯広南ロータリークラブ 例会訪問
10月23日に提唱クラブである帯広ロータリークラブ様に訪問し、募金活動を行いました。募金金額は20,291円でした。



募金額

合計で
117,934円
となりました。

近日中に銀行振り込みにて
募金を行う予定です。

世界ポリオデー活動報告

釧路北ローターアクトクラブ活動報告

釧路北ローターアクトクラブ 会長 小島 大輝

① 9月16日(土) 今年度第五例会

会 場：新釧路川河川敷・

釧路装備株式会社様ガレージ

例会内容：河川敷清掃&BBQ 例会

募 金 額：7,940円



釧路市様と締結しておりますクリーンパートナーシップ制度に基づき、年2回実施している河川敷清掃の第1回目の例会を行いました。

例会の開催前に募金箱を用意し、募金の声掛けを行いました。

釧路北ロータリークラブの皆様、釧路ノースサテライトクラブの皆様、釧路北ローターアクトクラブのOBOGの皆様、他多くのご参加いただいた方々より募金を行っていただきました。

② 9月28日 今年度第六例会

会 場：釧路市交流プラザさいわい

例会内容：ポリオ根絶

～アクトはどう向き合うか～

ポリオウイルスについて知らない会員もいることから、アクト会員向けに、改めてポリオウイルスがどのようなウイルスであるか、そして今まで根絶に向けてどのような活動が行われてきたかを学ぶ例会を設けました。



例会の最後は、私達ローターアクトクラブならではの方法で、ポリオ根絶に向けてどのような取り組みができるか、参加者同士でディスカッションを行い、意見を交わしました。



③ 10月29日(日) 今年度第七例会

会 場：鳥取ドーム

例会内容：ハロウィン例会

募 金 額：25,848円

今年度で5回目の開催となる、釧路管内の小
 学生を対象としたハロウィンイベントを開催行
 いました。イベント当日は、当初予定していた
 定員100名を大きく上回る129組の子どもたち
 にご参加いただき、ランタン作りを楽しんでい
 いただきました。



今回はポリオ根絶への取り組みとして、ポリオへの募金にご協力いただいた参加者に、お礼として制作したランタンの中に入れる用のLEDライトをプレゼントする企画をご用意し、募金のお声がけをいたしました。

結果として、参加者の大多数である126名からの募金をいただいた他、イベント内でのご案内を通じて、釧路市内のお子さんを抱えるご家庭に対して、ポリオウイルスの脅威について、周知する機会となりました。



**世界からポリオをなくそう！
 ポリオのない世界まで「あと少し」**

たった1本のワクチンで、助かる命があります。

年間150万人、約20秒に一人の子どもたちが、ワクチンがあれば防げる病気で命を奪われています。

100円のご寄付で約4回分のワクチンを確保する事が出来ます。

子どもたちの命と成長を守るために、募金にご協力ください。

寄付にご協力いただいた皆様へ、お礼として釧路北ローターアクトクラブよりLED キャンドルライトをお配りさせていただいております。是非ランタンに入れて、明るくかざってください。



世界ポリオデー活動報告

稚内ローターアクトクラブ活動報告

2023-2024年度 稚内ローターアクトクラブ理事会

■活動概要

日時：10月22日(日)13:00～15:00

場所：稚内副港市場駐車場周辺

稚内RACでポリオ根絶募金活動を行うにあたり、「クラブ広報活動も兼ねることが出来るのではないか」ということで、クラブ奉仕・専門知識開発委員会が主体となり「ポリオデー募金活動例会」として例会化し実施した。

下記募金活動範囲に会員を2班に分け配置し、リーフレットを配布しながら募金活動を行った。

当初10月21日(土)同刻にて開催する予定だったが、荒天の恐れありとのことで延期、22日開催となった。

また、地元広報誌「日刊宗谷」様が取材に訪れ、岩田会長が取材対応した。

■参加会員

募金活動は会員全8名中6名参加した。

会長 岩田 祐輝 幹事 金谷 祐介

会計 柿木 七海

会員 石塚 規嵩 小野 翔太郎 中澤 雄真

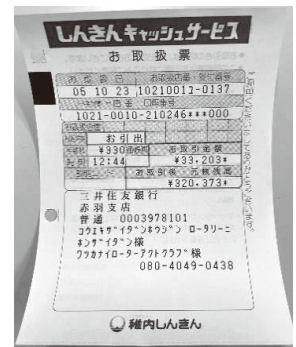
■事前準備

募金活動するにあたり、活動周知を下記の通り行った。

- ①稚内RAC公式SNS(Facebook)で複数回活動広告
- ②地元広報誌「日刊宗谷」の一面に募金活動広告
- ③曾根青少年委員長を通して稚内RCへ活動周知
- ④会員個人が友人等へ募金協力要請

■募金集計と寄付対応

募金総計：¥33,203



寄付金は稚内ローターアクトクラブより全額、寄付分類「ポリオプラス」として公益財団法人ロータリー日本財団へ送金しました。



世界ポリオデー活動報告

富良野ローターアクトクラブ活動報告

我々富良野RACは青少年委員長の坂口委員長、名寄RACより高嶋会長と富良野RACメンバー共に計7名での開催となりました。

午前中と午後の部と2部構成で開催をし、午前中はポリオについて知ってもらう活動をしました。

ポリオについては講師として当クラブ在籍最年長でもある篠澤会員にお願いをし、ポリオについてのプレゼンテーションをしていただきました。

担当した会員含め、皆がポリオについてどんなウィルスなのか「ポリオとロータリーがどんな事をして、今日に至る活動をしているのか」など、参加者全員がポリオについて深く考え、知るきっかけとなりました。

午前プログラムの後半には、ポリオの根絶に向け「我々アクター・ロータリアンに出来ることは何か？」という議題で議論会もしました。今までポリオについて名前しか知らなかった会員もいる中で良い意見交換の場になりました。

その中でも特に一致して出た意見がポリオに対しての周知、情報の発信などです。

周りの人の理解や協力なしでは募金活動なども成り立たないので、まずは会員がポリオについて理解し、それを周知・発信することで次の活動に繋がると思いました。



午後の部では、当初は街頭で募金活動を計画していたのですが開催場所が屋外であり天候が優れなく、急遽予定変更をしてチャリティーボーリングを行いました。

ストライク・スペア 100円 ガーター 10円 英語発言 1円

上記金額を設定し、2ゲーム制で開催をしました。

最初はお互い英語を発言しないよう口数も少ない中の開催となりましたが、ゲームを開始するにつれ、皆の緊張も解け最後は大盛り上がりでのゲーム終了となりました。誰とは言いませんが、約1名は英語発言のルールを完璧に無視しものすごい数のチェックがついていました。

チャリティーボウリング等や前回の募金活動を全て含め募金金額計は23,784円となりました。これらの募金はロータリー財団を通じて募金をする方針でポリオデーは終了しました。



今回の活動を通じて、ポリオについての周知は参加して頂いた会員はできたと思うので今回来れなかった方々に向け再度例会を設けて周知してもいいのではないのかなと思いました。

世界ポリオデー活動報告

ポリオデー 第2ブロック合同募金 報告資料

美幌・北見・網走ローターアクトクラブ合同開催

行事名 2023-2024年度
ポリオデー第2ブロック合同募金

会場 北見工業大学 講堂前

日時 令和5年10月14日(土)
開始15:00 終了16:00

参加者 美幌RAC 2名 北見RAC 5名 網走RAC 3名

内容 北見RC主催ライラセミナーのプログラム「野村良太さん講演会」(一般聴講可)受付にて、募金活動を行いました。
限られた時間の中でしたが、各クラブが協力し合い設営・運営を行い合計41,727円の募金を集めることが出来ました。



北見しんぎんキャッシュサービス	
ご利用明細	
毎度ご利用いただきありがとうございます。 ただいまのお取扱いは、下記のとおりでございます。	
お取扱日	取扱金庫店番 通番
05 10 22	10300117-0046
カード発行金融機関-店舗コード	口座番号
万円 千円 百円 十円 円	
お取引内容	振込 0 10 2 5 0 1 2
手数料 ¥495	通帳買 お取引金額(円)
時刻 11:26	¥41,727*
説明コード	お取引後残高(「-」は貸越額)

三井住友銀行 赤羽支店 普通 0003978101 コウイキサ「イタ」ンネウシ「ン」 ロークリーニ ホ「ン」サ「イ」ツ「ン」様	

釧路北ロータリークラブ出航 日本を取り戻し楽しむ旅 航行中

釧路北ロータリークラブ 会長 菊池 美恵子

2023-2024年度釧路北ロータリークラブの重点目標の一つとして「日本を知る・日本を楽しむ」があります。日本人のロータリアンとして日本の伝統、文化を会員自身が体験し、知識財産として自分のものにしておくことが自国はもとより他国の人と交わるうえで大切なこととして年度のはじめにその取り組みがなされました。

夜のとばりに包まれた中、釧路一ノ宮 厳島神社にて「鎮魂行法」体験が会員30名参加で行われました。まずは社務所にて講義を受け、その後白衣を身にまとい手水を済ませ本殿へと向かいました。漆黒の闇の中、灯籠だけが照らす深閑とした社殿のなかで息を整え日本の古来より宝とされる、邪悪なものを除するものの名を口にし最後に手中に清められた『玉』をいただき鎮魂行法体験を終えました。

2024年にも「知っておきたい日本の伝統文化」にまつわる様々なプログラムが予定されています。これらは異業種職業理解から会員理解と会員のスキルアップを目指すものとなっています。

今年度の釧路北ロータリークラブと心身を清められ、新たなるエネルギーを頂いた会員皆様の益々の弥栄を願い2023-2024年度出航、足立パストガバナー、佐渡ガバナーノミニーと共に『龍』の年が象徴する「運氣上昇」しつつ航行してまいります。



根室RC・根室西RC合同音楽隊事業

根室西ロータリークラブ 幹事 大島 義孝



北海道警察音楽隊、カラーガード隊、市内の光洋中学校・柏陵中学校（2校）吹奏学部の生徒の皆様をお招きし、根室RC・根室西RC合同による初の音楽隊事業として行いました。

プロジェクト名は、『北海道警察音楽隊&カラーガード隊ふれあいコンサートinねむろ』。

開催日は、令和5年9月26日（火）18:30～20:20。根室市総合文化会館大ホールにて780名の市民の皆様にご参加頂きました。

内容は、はじめに主催者を代表し根室RC遠藤輝宣 会長よりご挨拶を頂き、両クラブを代表し根室西RC 社会奉仕委員会 岡野将光 委員長より主旨説明、音楽隊27名の単独演奏及び、中学校（2校）生徒50名の吹奏楽部との合同演奏、カラーガード隊9名による旗を使った演技やダンスなどステージドリの演舞、特殊詐欺の対

処法など身近に起こる事件や事故を防ぐための大事なお知らせを、シンボルマスコット「ほくとくん」からわかりやすく発信、会場参加者とのQ&Aタイム、令和3年からの根室西RC継続事業として地域が見守り育てるとのテーマに「車に気をつけてね、ストップ ザ 交通事故」の啓発運動、交通安全旗の贈呈式を事業の中で実施。両クラブを代表し、根室西RC 坂巻秀敏 会長から根室警察署長 原 英樹 様、並びに市内小学校8校の寄贈を根室市教育長 波岸克泰 様に交通安全旗、合わせて30枚を寄贈後、警察署長並びに教育長より謝辞を頂き、終りに坂巻秀敏 会長の挨拶で閉会致しました。また、両クラブ合同でポリオ撲滅の「PR活動と募金活動」を実施しました。

事業のねらいとして、コロナ感染拡大に伴う

閉塞感をブレイクスルーしていくため市民の皆様と一緒に元気になりたい、安心安全な街をこれからもより一層築いていきたい、そして、時代を担う子供たちに音楽隊との共演を通し日頃の活動の成果を多くの皆様に鑑賞頂きたい。事業を終え市民の皆様より、好評のお声と今後も是非公演してほしいとの数多くのお声を頂きました。私どもRCは、奉仕活動を通し地域に愛され増々発展して参りたい。

この音楽隊事業の企画案は、根室西RC 2021-2022年度 田中昭由 会長年度に企画されましたがコロナ禍のため止むを得ず実施されず、令和5年5月にコロナ5類になったことにより、今年

度根室RC会長、根室西RC会長はじめ、各担当委員会委員長・副委員長が綿密な事業計画を立案し、コロナ感染に充分配慮するための会場満席を避け会場8割程度にするなど整理券の配布方法や市民の皆様への丁寧な対応に心掛け、根室警察署・道警、中学校の関係者の皆様、そして当日出席者50名の両クラブロータリアンが力を合わせた結果、無事故で事業を終えることができました。

結びに日中、中学生に演奏の御指導等賜りました音楽隊の皆様に感謝を申し上げ、根室RC・根室西RC合同音楽隊事業のご報告を終わります。



米山奨学生レポート

日本留学とロータリー米山奨学生としての道程

米山奨学生 馮 迎 春

私の名前は馮迎春、中国の重慶から来た旭川市立大学の学生です。日本への留学は、私にとって新たな挑戦であり、自己の可能性を探求する貴重な機会でした。しかし、日本に来たばかりの頃は言葉の壁や文化の違いに直面し、多くの困難に遭遇しました。日本語が得意ではなく、アルバイトをしながら学業を続けることは非常に困難でした。その時、80代の大家さんに出会い、彼から大きな支援を受けました。大家さんの優しさと励ましの言葉は、私が日本での学生生活を続ける上での大きな支えとなりました。この出会いは、私の人生に新たな方向を示しました。そして、私はより一層勉強に力を入れるようになりました。

学生生活の中で、私は異文化交流活動に積極的に参加しました。これらの活動を通じて、地域社会に積極的に関わる機会を持ちました。地元の学校での活動は、私にとって特に印象深い経験です。学生たちと一緒に花を植え、彼らの学習をサポートし、進路指導を提供しました。これらの活動を通じて、私は教育の重要性を再認識し、子供たちの成長を支える喜びと感じました。また、高校生への補習指導や、高校での異文化発表を通じて、中日文化交流の促進にも貢献しました。

私は旭川市に来てから三年目に、旭川南ロータリークラブからロータリー米山奨学生として選ばれる栄誉を得ることができました。奨学生になってからは、毎月の例会で出会った多くの立派な方々、特に私のカウンセラー角田さんからは、日本の文化や社会について深い理解を得ることができました。彼らとの交流は、私のコミュニケーションスキルを高め、異文化理解を深める貴重な機会となりました。

また、ロータリーの奉仕精神に基づく活動にも積極的に参加し、社会に貢献する意義を深く感じるようになりました。例えば、5月に旭川市主催で行われたごみのポイ捨て禁止運動に参加しました。この活動はごみ拾いをして環境保護意識を高めることを目的としており、地域コミュニティの一員として地球の保全に貢献する意義があります。私たちが参加したこれらの公益活動は、個人としての社会的責任を果たすと

同時に、地域社会の一体感を強める機会となりました。



そして、10月1日には所属している旭川南ロータリークラブの行事である家族りんご狩りに参加しました。この日は10月24日のポリオデーに向けた取り組みで、参加者皆でポリオ撲滅のメッセージ動画の撮影を行いました。この活動は、私たちにポリオ撲滅のための責任感を持つことを教え、社会的弱者を支援することの重要性を理解させました。私たちが参加する公益活動は、単に個人の成長を促すだけでなく、より良い社会を築くための貢献であり、私たちの行動が社会に与える影響を実感する機会となりました。



この留学生活と米山奨学生としての経験は、私にとって計り知れない価値があります。学業だけではなく、社会への奉獻と文化交流に積極的に参加することで、私は自己成長を遂げることができました。今後も、これらの経験を活かし、学びと貢献を通じて成長を続けたいと思います。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

vol. 285
2023年12月13日
発行

1. 創立40周年！台湾米山学友会が記念式典開催

現在、国内外で43の米山学友会が活動していますが、最初の学友会として1983年から活動を開始した台湾米山学友会。そして今年、同学友会は創立40周年を迎え、その記念式典が11月25日、台北市内で開催されました。会場には台湾在住の米山学友や、同学友会が支援する日本人奨学生のほか、日本からも多くの参加者が現地に集結。参加者は111人となりました。

当会からは、若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、駒井英基常務理事が出席。そのほか、韓国学友会の全炳台会長（1980-83、91/仙台北RC）、スリランカ学友会のダシルワ プブドゥ会長（2007-09/室蘭北RC）や、台湾学友会の歴代理事長らも駆けつけ、節目の40周年を祝いま



した。
林志昇^{リン シン ショウ}理事長（1992-94/津RC）は、「これまで支えていただいたロータリー会員と米山奨学会に改めて御礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。活動・会計報告を行った後、同学友会が独自支援している日本人奨学生5人が流ちょうな中国語で自己紹介を行い、温かい拍手が送られました。なお、同学友会が2009年から日本人若手研究者奨学金として支援してきた奨学生は累計53人となり、今回の式典にも元奨学生6人が出席しました。

台湾のみならず、韓国やスリランカからも学友が集った会場では、これまでの台湾学友会の歩みを振り返るとともに、感謝の言葉で溢れました。



2. 来年の年賀状は学友がデザイン

当会では、評議員、理事、監事、専門委員、地区米山奨学委員長、奨学生、日本在住の学友などへ毎年年賀状を送っています。来年の年賀状は、アーティストとして活躍する米山学友、ロウギョウネイさん（2018-19/東京町田RC/東京麴町スターロータリー衛星クラブ創立会員）によるデザイン。お手元に年賀状が届いた方は、じっくりとご覧ください。

<ロウギョウネイさんからメッセージ>

この作品のタイトルは「抱龍」です。来年の干支である龍は、幸運の象徴。2024年は、皆さんそれぞれが多幸を胸に抱くことができるよう願いを込めて、龍を抱く姿を描きました。一人でも多くの方が、たくさんの幸福をその胸に抱くことができますように。



HAPPY NEW YEAR

デザイン：ロウギョウネイさん（2018-19/東京町田RC）

ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリー会員によって支えられている事業です。2023学年度は日本全国で900人、これまでに世界131の国・地域から23,509人を支援しています。旧年中のご厚意に感謝いたしますとともに、皆様にとって幸多き新年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

2024年 元旦
理事長 若林 紀男
事務局 一岡

Rotary
District of Japan
公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
〒165-0011 東京都港区芝公園2-6-15 芝公園ビル3階

3. 次期地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

2024-25 年度地区米山記念奨学委員長を対象とする第1回セミナーを12月4日、都内会場で開催しました。

午前の部は、若林紀男理事長の挨拶、井原實常務理事の講話から始まり、滝澤功治副理事長から危機管理に関してご説明いただいた後、事務局から学務関連について説明を行いました。

午後の部では、事務局から寄付、広報、学友会について説明。続いて第2660地区（大阪府）の事例発表として、辻本啓之次期委員長より寄付増進の取り組みについてご紹介いただきました。同じく事例発表として、第2650地区（福井・奈良・滋賀県・京都府）の片山隆永委員長から、危機管理に関する対応事例について発表いただ



きました。その後、4グループに分かれて「寄付増進について」「奨学生選考と育成について」「学友・学友会について」「危機管理について」などをテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、神野重行常務理事の講評で締めくくられました。

4. 寄付金速報 — 12月の送金はお早めに —

前年同期比

+ 4.9%

普 + 0.3% 特 + 7.0%

11月までの寄付金は、前年同期と比べて4.9%増（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:7.0%増）、約3,480万円の増加となりました。今月は特別寄付金に加え、普通寄付金

も前年度を上回るご寄付をいただきました。常日頃からご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。12月29日（金）までに当会口座に着金した特別寄付金については、確定申告用領収証を来年1月末日までに各クラブ宛に発送します。確定申告をご予定されている方は、お早目にご送金くださいますようお願いいたします。

5. 韓国米山学友会が総会開催

11月18日、ソウル市内のホテルにて、韓国米山学友会総会が開催され、国内外から集まった米山学友とロータリー会員ら73人が参加しました。当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、柚木裕子事務局長が出席しました。



全炳台会長が開会挨拶を行い、参加者への感謝を述べた後、若林理事長から祝辞が送られました。その後、日本人奨学生への奨学金授与式が行われ、今年度の9人の奨学生のうち出席した4人が受け取りました。同学友会は独自で現

地日本人留学生を支援しており、累計の奨学生数は42人となりました。

また、今年度をもって、2014年から10年にわたり同学友会の会長を務めた全炳台さんが退任し、2024年1月1日

から新たに朴在泳さん（1995-97／仙台泉RC）が6代目の会長に就任することが決定。就任に際し、「学友会の発展のために努力し、韓国と日本の懸け橋となり、世界各国の学友会と交流を通じて米山の精神を受け継いでいきます」と、今後の学友会活動への意気込みを語りました。

6. 食と文化の奉仕活動 第 2750 地区米山学友会

11月11日、東京都市大学等々力高等学校にて国際交流イベント「米山クロスカルチャー」が開催されました。この取り組みは、今年で9回目の開催で、東京クロスシティRCが主催しており、第2750地区米山学友会と同地区米山記念奨学委員会が後援しています。

同校の高校生231人に対し、現役奨学生・学友やローターアクターなど51人が講師役を務め、母国紹介や留学経験、趣味についての話題を日本語と英語、あるいは各自の母国語を交えて交流。生徒らは英語でプレゼンテーションを行うなど、お互いが外国語を用いた異文化交流を行いました。

また翌週18日には「ひとり親支援フードドライブ」を開催。6人の学友と9人のローターア



クター、同地区の粕谷啓之米山記念奨学委員長らが参加しました。東京オーキッド世田谷南RAC、東京クロスシティRCと連携し、世田谷区内在住で、子ども食堂の利用経験がないひとり親の方々100世帯分の食材を集め、世田谷区社会福祉協議会に寄付しました。寄付されたものには、ローターアクターの相樂侑加さんのご実家の福島産コシヒカリや、学友提案のレシピ用食材、韓国のお菓子など、さまざまな食材が集まったそうです。また、食材寄付に加え、同学友会が掲げる3つのテーマである「震災や災害情報支援」「食を通じた国際交流」「高齢者の社会参加」に沿って、東京オーキッド世田谷南RACが地震発生時の防災ガイドラインの提供、第2750地区学友会が海外食材を使ったレシピと文化紹介と、デイサービスでの子ども向けプレゼントの製作を行いました。

◆ベトナム南米山学友会 創立記念式典のご案内◆

海外10番目の学友会として設立されたベトナム南学友会の
創立記念式典が開催されます

2024年3月10日(日) 17:00~21:00
THANH THUY レストランにて開催(ホーチミン市内)
問合せ先: vietnam.yoneyama@gmail.com

詳細はQRコードから



申告用領収書は来年1月にお送りします



ロータリー米山記念奨学会へのご寄付は税制優遇を受けることができ、「税額控除」か「所得控除」いずれか有利な方式を選択できます。今年1~12月に寄付をした方には、来年1月末までに申告用領収書をクラブ経由でお送りします。12月29日(金) 当会着金分までが対象です。

米山記念奨学会事務局は、12月28日(木)~1月8日(月)の間休業させていただきます。来年は1月9日(火)より通常業務となります。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 長尾(ながお)

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年1月号 No. 1

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



柔軟で愛に満ちたクラブ運営をしましょう

第2地域

ロータリーコーディネーター補佐

若林 英博

(東京麹町RC)

ロータリークラブは「正会員」と「名誉会員」の2種類の会員種類をもつことができます。

正会員の必須事項は 1. 例会に出席すること 2. 会費を納めること 3. ロータリーの雑誌を購読することですが、会費の中にはRI人頭分担金、地区賦課金、例会費、事務局経費、場合によっては地区大会人頭分担金などが含まれます。

現在RIでは、クラブが多様な会員種類を作っても構わないことになっています。第2580地区のクラブでは、様々な会員種が来ていますのでご紹介いたします。

シニア会員・・・ご高齢の方の退会防止につながります。あるクラブでは、“年齢84歳以上、ロータリー歴20年以上、クラブ理事会でシニア会員になれるかどうかの可否を判断する”と基準を設けています。例会には月1回まで出席は無料、あとはメイクアップ扱い（ビジター費をいただく）にします。会費は年10万円にしています。この制度は会員が仕事をリタイアして満額の会費負担が厳しい、ご高齢になられて体力的に厳しく家族の反対がある、そろそろロータリーを引退かという方を想定しています。最後までロータリアンでいたい、棺桶にバッジを付けて入りたいなど、心の底からロータリーが大好きな方に手を差し伸べる仕組みです。但し余裕のある資産家の方には、申し訳ないですが、84歳以上になられても一般の正会員のままでいていただくというクラブの規定があります。理由はクラブの運営費が不足するからです。

家族会員・・・正会員のご家族に入会してもらう仕組みです。例えばご主人がロータリアンで、ご子息が他団体に入会しているということはよくありますが、家族会員制度を利用して早くからロータリーに入会いただこうとする制度です。会費は正会員の半額とし、世帯で合計1.5倍の会費を支払います。例会にお二人揃って無条件参加可能としているクラブと、例会参加はお一人ずつなど、ある程度の出席制限を設けているクラブがあります。お二人揃って全ての例会に参加されると採算が合わなくなる可能性があるからです。

WEB会員・・・コロナ禍でズームなどを使った、対面とバーチャルのハイブリッド例会が可能となりました。WEB会員は、例会にバーチャル参加することが基本となります。食事を召し上がらないので会費を低額に設定することができます。例会に対面参加した場合にはビジター費をいただきます。家族会や親睦旅行には対面で参加します。お仕事の関係で昼の例会に出にくい方、遠方の方、若くてまだ満額の会費負担が厳しい方に対して有効な制度です。

会員制度ではありませんが、衛星クラブの紹介をします。すでに全国的に衛星クラブが多くなってきました。衛星クラブの創設には8名以上の会員候補者が必要です。会員が20名以上になるとロータリークラブに変更することも可能です。衛星クラブの会員は、スポンサークラブの会員として会員数に加算されます。例会数や会費は衛星クラブが独自に決めますが、RI人頭分担金などは支払わなくてははいけません。現在年間6万円の会費としている衛星クラブが当地区では多いようです。

なお、これらの会員種類は全て各クラブの理事会で詳細を決めていただきます。どうぞクラブの活性化に役立ててください。皆様の周りで、新しい会員種類を設けたクラブや検討中のクラブがあれば、ぜひ詳細をご教授ください。機会があれば、全国のクラブへ情報共有したいと思います。

入力フォーム <https://forms.gle/1hneFbkGGzPyJ7ay8>



Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年1月号 No. 2

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

高 良 明

(川崎西RC)

(ポリオ根絶ショートストーリー)

1. 昔々、世界で、ポリオという病気で困っている子供たちがたくさんいました。
2. しかし、世界中の誰も助けることができませんでした。多額のワクチンのお金が必要だったのです。
3. それを知ったロータリーは、「奉仕の理念」のもとに手を差し伸べることにしました。
4. その結果、人道的奉仕を志すロータリーの仲間たちによって多額の寄付が集まり、とうとうこの世からポリオをなくすまで「あと少し」のところまでできました。
5. ポリオを根絶し、世界の子供たちが笑顔で暮らす日が間もなく訪れようとしています。

一人ひとりのエネルギーを結集すれば偉大な力が生じます。そのエネルギーの元（源泉）は一体何でしょうか。フィロソフィーや、理念・目的といった人生・世界観に基づいた「考え方」であろうと思います。行動しなければ確かに何も生まれませんが、その行動を促す原動力となるものは、その「考え方」にあると思います。ロータリーは崇高な「超我の奉仕」の標語（フィロソフィー）を根底に、「奉仕の理念」を具体的に実践行動して形に現わさんとする職業人の集まりです。

ポリオ根絶の国際プロジェクトの成果も、「奉仕の理念」が具体的な実践行動として現れた結果です。「The Ideal of Service」＝「Take Action」でなければなりません。これはコインの表裏の関係と同じでありましょう。そこにロータリーたる真骨頂があると思います。

また、ロータリーは「何をするか(What)」を考えることはもとより大事なことでありますが、ロータリーは「何のためにそれをするか(Why)」を常に問いかけて、ロータリーの目的、そしてロータリーの使命を果たしビジョンを実現していかなければなりません。異なる職業人の集まりであるロータリーにとっての魅力は、何といてもDEIよろしく異業種の仲間との友情にあります。その根底に流れる「奉仕の理念」を中心としたロータリーの価値観が、個々のロータリアンの心に灯をともし、これがロータリークラブの存続、あるいは社会の発展、世界の平和へと広がり、これらの紐帯となっていることだと思ふのです。ロータリーの哲学を学び、これを仕事で、クラブで、社会で活用し行動してこそロータリーの存在価値・意義があり、そこにロータリーの魅力を演出する価値があると考えます。

このように真のロータリーの魅力を一般社会に伝えられれば、公共イメージの向上につながり、ロータリーの更なる発展向上の推進力になるものと信じます。世界中を「奉仕の理念」が当たり前の世の中にしたいものです。

Rotary
Region 1, 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2024年1月号 No. 3

発行: Region 1, 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリー財団地域コーディネーター補佐

大谷 新一郎

(相模原南RC)

第2地域ロータリー財団コーディネーター補佐を前任者田中賢三氏より引き継ぎ拝命しました大谷新一郎（2780地区・相模原南RC）です。伊藤RRFCの補佐として与えられた職務を肅々と務めてまいり所存です。

2023年11月19日に行われましたロータリー財団地域セミナーにおきまして、令和4年度に公益財団法人ロータリー日本財団に寄せられた寄付額は2,210,263千円と最高額を達成できた旨の報告がありました。皆様の財団に対するご理解とご協力に心から敬意を表する次第です。

このように寄付に対する考えが次第に高まってきたことには大いに喜ばしいことですが、「寄付の文化」はまだ日本において理解が希薄ではないかと思えます。世界の現状に目を向けてみますと、「世界人助け指数」という評価の中で日本は2019-20年度では118位（119か国中）と下から2番目となっており、1位アメリカ・2位ミャンマー・3位ニュージーランドとなっております。

アメリカは2020年にアマゾン創業者（CEO）ジェフ・ベゾス氏が約100億ドルの寄付を行っておりますので当然1位でありましょうが、ミャンマーが過去3年1位であったことは子どものころから何らかの形で寄付という行為が日常生活に浸透していることがうかがえます。

では我が国において昔から全く寄付行為が無かったのかということとそうではありません。奈良時代には仏教僧が民間から奉加（ほうか）と呼ばれる寄付を集める活動がありましたし、江戸時代には商人たちが寄付を出し合って橋を建設したり子どもらのために寺子屋を開いたり慈善活動や後進育成に財産・時間を提供する文化がありました。

ところが明治に入り国の政策で地方自治体が中央集権体制となり「福祉をはじめとする公共サービスは行政がやるべきもの」という意識が植え付けられた結果、寄付行為や人助けの精神が乏しくなってしまいました。

しかし近年我が国も次第に寄付に対する考え、理解が向上してきたように思えます。日本は自然災害が比較的多い所で過去において大きな震災等がありました。1923年の関東大震災そして1995年の阪神淡路大震災、まだ記憶に新しい2011年の東日本大震災とたて続きに見舞われました。どの時も日本はもとより世界中から大きな支援をいただき、国内では人助けの理念のもとボランティア活動が活発に行われるようになり、災害にあった人たちへ個人が個人で出来る範囲の支援が顕著になってまいりました。

近年の我が国の寄付額を見ますと


2010年（4900億）――>2020年（1兆2200億）となり徐々ではありますが「良いことをしよう」という考えが進んできたのではないかと思います。その「寄付の文化の向上」をロータリークラブが率先して進め、国民の皆様に啓蒙していくのも大きな活動のひとつだと思います。1917年にロータリー財団を創設したアーチC・クランプの「世界でよいことをしよう」を実行し、世界平和を目指していきたいと思えます。

国際ロータリー第2500地区 **新入会員の紹介**

第3分区 旭川ロータリークラブ

まつだ みのもる
松田 年

■ 消化器・内視鏡外科医
■ 1958年8月3日生 ■ 9月29日入会




外科医で落語家です。
よろしくお願ひします。

第3分区 旭川ロータリークラブ

てるい たかあき
照井 太陽

■ シティホテル
■ 1991年4月10日生 ■ 7月1日入会




妻と息子ふたりと旭川での生活を満喫しています。最近仕事でもプライベートでもサウナに入っています。

第3分区 旭川ロータリークラブ

あだち ゆういち
足立 祐一

■ 中央銀行
■ 1973年7月2日生 ■ 8月25日入会




旭川ロータリークラブに入会させて頂き、ありがとうございます。日頃からの活動を大切にしながら、地域に貢献していきたいと考えています。

第6分区 帯広北ロータリークラブ

あべ まこと
阿部 誠

■ 福祉事業
■ 1955年4月28日生 ■ 7月1日入会




伸び代のある68歳、
オールド・ルーキーです。

第6分区 芽室ロータリークラブ

かじさわ こうじ
梶澤 幸治

■ 農業
■ 1971年9月21日生 ■ 11月13日入会




ロータリー活動を通じてネットワークを広げ、異なる職種の皆様と交流・親睦を深めることで、人間としても幅を広げて成長していく良い機会となる様に勉強させていただきます。

第8分区 根室ロータリークラブ

いわさき しょうじ
岩崎 祥治

■ 石油燃料販売
■ 1967年9月25日生 ■ 11月21日入会




先輩ロータリアンの皆様と共に、地域の奉仕活動に努めて参ります。
どうぞ宜しくお願いいたします。

第8分区 根室西ロータリークラブ

かとう のぼる
加藤 昇

■ 建築総合請負
■ 1950年10月21日生 ■ 11月9日入会



奉仕の精神のもと、地域や社会のために精進してまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

ロータリー財団寄付者報告

第3分区 旭川西ロータリークラブ

やまぎた まさみ
山北 正美

寄付月日 2023年11月15日
寄付種類 MPH F + 2

第3分区 北海道2500ロータリーEクラブ

たかはし ひろあき
高橋 広昭

寄付月日 2023年11月15日
寄付種類 AF-SHARE

第3分区 北海道2500ロータリーEクラブ

わたなべ まさとし
渡邊 正俊

寄付月日 2023年11月15日
寄付種類 ポリオプラス

第5分区 北見西ロータリークラブ

さいとう しんいちろう
斉藤伸一郎

寄付月日 2023年11月20日
寄付種類 P H F

第4分区 紋別港ロータリークラブ

こばやし まさお
小林 正男

寄付月日 2023年11月21日
寄付種類 MPH F + 8

第5分区 北見東ロータリークラブ

なかやま だいさぶろう
中山大三郎

寄付月日 2023年11月24日
寄付種類 MPH F + 7

第5分区 北見東ロータリークラブ
 やまもと き いち
山本 貴一 寄付月日 2023年11月24日
 寄付種類 MPH F + 6

第6分区 帯広ロータリークラブ
 にっ た きよし
新田 潔 寄付月日 2023年10月25日
 寄付種類 MPH F + 5

第6分区 帯広北ロータリークラブ
 く どう かず のり
工藤 一則 寄付月日 2023年11月24日
 寄付種類 MPH F + 3

第6分区 帯広東ロータリークラブ
 うえ の とし ろう
上野 敏郎 寄付月日 2023年11月30日
 寄付種類 MPH F + 5

第7分区 釧路西ロータリークラブ
 おお さか とし はる
大坂 敏治 寄付月日 2023年11月24日
 寄付種類 MPH F + 1

第7分区 釧路北ロータリークラブ
 こ まつ りょう じ
小松 亮次 寄付月日 2023年12月13日
 寄付種類 MPH F + 3

第8分区 根室西ロータリークラブ
 さ さ き たかし
佐々木 隆 寄付月日 2023年9月29日
 寄付種類 P H F + 1

第8分区 中標津ロータリークラブ
 ささ や よし お
笹谷 芳夫 寄付月日 2023年11月27日
 寄付種類 P H S

第8分区 中標津ロータリークラブ
 ひ の さわ ゆずる
日野澤 譲 寄付月日 2023年11月27日
 寄付種類 P H S

米山功労者報告

第2分区 名寄ロータリークラブ
 ふじ た けん じ
藤田 健慈 寄付月日 2023年11月8日
 米山功労者 1回

第3分区 旭川西ロータリークラブ
 ひろ おか て る え
廣岡 輝恵 寄付月日 2023年11月16日
 米山功労者 1回

第6分区 帯広東ロータリークラブ
 おお つか まさ あき
大塚 正昭 寄付月日 2023年11月30日
 米山功労者 9回

第6分区 帯広南ロータリークラブ
 すぎ やま たま お
杉山 玉夫 寄付月日 2023年11月30日
 米山功労者 3回

第6分区 帯広東ロータリークラブ
 かま だ つとむ
鎌田 勉 寄付月日 2023年11月30日
 米山功労者 4回

第6分区 帯広ロータリークラブ
 こ はく さとし
小白 智志 寄付月日 2023年11月30日
 米山功労者 3回

第6分区 帯広ロータリークラブ
 さ とう ゆき ひろ
佐藤 幸宏 寄付月日 2023年11月30日
 米山功労者 2回

第7分区 釧路北ロータリークラブ
 さか いら のぶ ゆき
坂入 信行 寄付月日 2023年12月14日
 米山功労者 5回

第7分区 釧路北ロータリークラブ
 こ まつ りょう じ
小松 亮次 寄付月日 2023年12月14日
 米山功労者 11回(メジャードナー)

第7分区 釧路北ロータリークラブ
 はぎ わら あき ひろ
萩原 昭博 寄付月日 2023年11月21日
 米山功労者 6回

物故会員



第5分区 網走西ロータリークラブ

さ さ き よし たか

佐々木良隆 〈肖像写真〉

2023年11月9日逝去 (享年89歳)

1974年11月 入会
1999年 第27代会長
1986年 PHF受賞
1999年 米山功労者 (第3回目)

2005年 MPHF受賞 (第2回目)
2013年12月 名誉会員
38年間100%出席

物故会員



第5分区 網走西ロータリークラブ

はい じま ゆう こう

配島 佑行 〈飼料製造〉

2023年11月12日逝去 (享年95歳)

1973年8月 チャーターメンバー
1998年 第26代会長
1986年 PHF受賞

2015年 MPHF受賞(第5回目)
2021年6月 名誉会員
45年間100%出席

物故会員



第5分区 網走西ロータリークラブ

いわ き かつ よし

岩城 勝義 〈鮮魚販売〉

2023年11月22日逝去 (享年84歳)

1992年7月 入会
1998年7月 奉仕委員長
2007年7月 クラブ会報・資料編集委員長

2009年 PHF受賞
2020年 MPHF受賞(第3回目)



例会出席率及び会員数推移

2023年11月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
1	礼 文	2	64	14	14	0	0	0	0
	利 尻	4	95	19	19	0	0	0	0
	利 尻 島	1	41	18	17	-1	1	0	1
	天 塩	1	41.7	12	12	0	2	0	0
	豊 富	4	89	20	20	0	1	0	0
	稚 内	2	76	44	44	0	2	0	0
	稚 内 南	3	77	37	37	0	1	0	0
	計		69.1	164	163	-1	7	0	1
2	美 深	3		27	27	0	1	0	0
	枝 幸	4	64.2	25	25	0	0	0	0
	名 寄	4	64.7	56	56	0	2	0	0
	中 頓 別	4	76.7	14	14	0	0	0	0
	士 別	4	79.65	43	43	0	1	0	0
計		71.3	165	165	0	4	0	0	
3	旭 川	3	63.64	66	65	-1	3	0	1
	旭 川 東	4		28	28	0	0	0	0
	旭 川 北	3	76.9	45	45	0	0	0	0
	旭 川 南	3		26	26	0	0	0	0
	旭 川 西	3	73.53	45	44	-1	5	0	1
	旭 川 東 北	3		15	15	0	1	0	0
	旭川モーニング	3		21	21	0	2	0	0
	旭 川 空 港	4	82.8	16	16	0	3	0	0
	美 瑛	4	55	30	30	0	0	0	0
	富 良 野	3	69.4	48	48	0	3	0	0
	上 川	3	66.67	10	10	0	0	0	0
	2500REクラブ	3	74	19	19	0	3	0	0
計		70.2	369	367	-2	20	0	2	
4	遠 軽	4	80.6	43	43	0	2	0	0
	紋 別	3	75.61	30	30	0	0	0	0
	紋 別 港	4	70.42	27	27	0	0	0	0
	興 部	4	75	15	15	0	0	0	0
	雄 武	3	75.1	14	14	0	0	0	0
	滝 上	3	73.3	15	15	0	1	0	0
計		75.0	144	144	0	3	0	0	

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数					
				前月	当月	増減	女性 会員	入会	退会
5	網 走	3	77.89	57	57	0	8	0	0
	網 走 西	3	63.62	48	47	-1	0	0	1
	美 幌	4	76.5	53	53	0	6	0	0
	北 見	4	72.66	59	59	0	6	0	0
	北 見 東	2	78.75	40	40	0	2	0	0
	北 見 西	4	76.48	62	61	-1	2	0	1
	清 里	3	83.2	30	30	0	0	0	0
	留 辺 薬	3	79.37	22	22	0	1	0	0
	斜 里	3	66	29	29	0	3	0	0
	計		74.9	400	398	-2	28	0	2
	6	足 寄	4	63.79	29	29	0	1	0
広 尾		2	47.5	20	20	0	0	0	0
上 士 幌		3	68	14	14	0	0	0	0
芽 室		2	81.8	21	22	1	1	1	0
帯 広		4	61.3	90	89	-1	7	0	1
帯 広 東		4	78.1	39	39	0	2	1	1
帯 広 北		3	83	65	65	0	3	0	0
帯 広 南		3	68.43	66	66	0	7	0	0
帯 広 西		4	62.16	87	87	0	6	0	0
音 更		3	68.25	42	42	0	5	0	0
清 水	4	56.54	18	18	0	2	0	0	
計		67.2	491	491	0	34	2	2	
7	釧 路	4	63.2	103	101	-2	0	0	2
	釧 路 東	4	68	32	32	0	0	0	0
	釧 路 北 (サテライト)	4	73	78 27	77 27	-1	3 9	0	1
	釧 路 南	3	72	27	27	0	4	0	0
	釧 路 西	2	65	28	28	0	1	0	0
	釧 路 ベイ	3	74.6	19	19	0	2	0	0
	音 別	4	85	16	16	0	0	0	0
	白 糠	3	83.3	10	10	0	1	0	0
計		73.0	340	337	-3	20	0	3	
8	厚 岸	2	73.1	13	13	0	0	0	0
	別 海	3	53.3	10	10	0	0	0	0
	浜 中	4	50	11	11	0	1	0	0
	中 標 津	3	38.7	36	37	1	3	1	0
	根 室	4	50	33	34	1	0	1	0
	根 室 西	3	58.5	49	50	1	1	1	0
	弟 子 屈	3	67.4	17	17	0	2	0	0
計		55.9	169	172	3	7	3	0	
総 計		69.6	2,242	2,237	-5	123	5	10	

第2500地区 全65クラブ	前月末会員数	当月末会員数	増 減	平均出席率
		2,242人	2,237人	-5人
女性会員数	122人	123人	1人	



カニの爪 オブジェ



2023-2024年度
国際ロータリー第2500地区

ガバナー事務所

〒094-0007 北海道紋別市落石町4丁目19-5

TEL / 0158-28-8280 FAX / 0158-28-8281

Mail / 2023-2024_governor-office@rid2500.jp

公式WEBサイト / <https://2023-2024.rid2500.jp/>

公式facebook / <https://facebook.com/rid2500/>

下記QRコードから
アクセスできます



WEBサイト



facebook